

# 消化器センター NEW一す NO.1

2015.7

## 消化器センターニュース発刊にあたって

### ❁ 辻仲利政 外科・顧問・名誉院長

消化器がんを始めとする消化器疾患患者さんに最適の医療を提供するため、平成24年度消化器センターを設立しました。消化器内科・外科および放射線科など関連する診療科が合同で診療にあたるチーム医療を推進し、泉州地域における消化器疾患治療の基幹施設としての役割を担ってまいりました。本年度の消化器センター拡張工事に併せて、消化器センターニュースを発刊することにいたしました。地域医療機関の皆さまとの連携を強化する情報ツールとして活用して行きます。診断治療の最新トピック、新しい手技、最新エビデンスとガイドライン、学会発表などの成果、スタッフ紹介などいろいろな情報を提供する予定です。月1回の刊行を目指し、外科と消化器内科が交代で担当いたします。

今回は、前任の安井・永井医師に代わってこの4月から赴任した奥山・川田医師を紹介いたします。ちなみに、私はこの3月末にて院長職を終えましたが、引き続き診療に従事しておりますので、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

### ❁ 奥山正樹 外科部長(下部消化管担当)

平成27年4月より市立貝塚病院外科部長に赴任しました、奥山正樹です。大腸を専門にしています。最近の大腸がんの化学療法の進歩は著しく、切除不能進行再発大腸がんの生存期間の延長はもとより、治らなかったものが治るようになってきています。私は市立豊中病院・東大阪市立総合病院と、がん診療連携拠点病院で2000例以上の大腸がん手術に携わってきました。その経験を生かし、「患者さんおよび患者さんを取り巻く全ての人々の幸福」を目指して、地域医療に貢献したいと思いますのでよろしくお願いいたします。

### ❁ 川田純司 外科副部長(上部消化管担当)

上部消化管(食道・胃)疾患を中心に治療を担当しています。QOL(生活の質)を重視し、腹腔鏡手術に積極的に取り組んでいます。がんの手術であっても、苦痛の軽減、早期回復、臓器障害の少ない治療法を目指しています。進行・再発癌患者さんには、新規抗癌剤や分子標的薬を組み合わせた化学療法および放射線療法などを活用し、あきらめずに種々の治療可能性を追求します。併存症に関しては、他の診療科や医療スタッフと連携し、チーム医療として患者さんをサポートします。さらに、併設されている緩和ケア病棟を利用して、充実した医療を提供いたしますので、よろしくお願いいたします。



市立貝塚病院  
TEL : 072-422-5865

